



# あゆみ

No. 183

令和 7年 6月16日発行

編集 発行：社会福祉法人 啓明会 苓山寮・第二苓山寮  
〒863-0006 熊本県天草市本町下河内 680

TEL 0969-22-5339・0969-22-1766 FAX 0969-22-5090

E-mail reizanryou@miracle.ocn.ne.jp・reizan2@muse.ocn.ne.jp

社会福祉法人啓明会ホームページURL <http://keimeikai.amakusa-web.jp/>

施設の旬の話題を「レイザンTOPIX」にて更新中です。



東向寺保育園交流会



## 『社会の中で暮らすということ』

施設長 飽田 一夫

入梅後、何もかもがしっとりとした梅雨らしい日々が続いています。日本には四季ではなく梅雨を入れて五季があると聞いたことがあります。梅雨は大雨による災害や食中毒など困ることも多い季節ですが、稲作に限らず日本に生息する多くの生き物は、この五つの季節の恩恵を受けて生きてきました。人も例外ではないと思います。

「地域移行」という言葉が障がい福祉の世界で語られるようになって、もう随分になります。施設という一般の家庭とは少し違う環境で生活するのではなく、少しでも家庭に近い暮らしをすることは、それは誰でもその方が良くと思うに違いありません。何十人も一緒に暮らす入所施設から少人数のグループホームへ。グループホームからアパートなどの一人暮らしへ。そう希望されている利用者は確かにいらっしやいます。苓山寮では令和三年度に二人の利用者がグループホームへ移られました。二人とも平成二八年度に入所さ

れたときからグループホームへ移る希望があり、それに向けて少しずつ生活習慣を見直し課題を解消していったことで、移行が実現したのです。現在は、別の利用者さんがグループホームを出て一人暮らしをしたいという希望があり、その実現のために様々なチャレンジをしています。また、今年三月には第二苓山寮の利用者さん一名がグループホームに移られました。しかし、反面グループホームから入所施設に移られた方もいらっしやいます。様々な理由で、入所施設より支援が手薄になるグループホームではその方や周囲の安全を守ることが出来ないかと判断された方々です。先日熊本市で開催されたきずなの会総会（親の会）では、入所施設が削減されていくことへの危惧の声が上がったと聞いています。「地域移行」が全てではありません。どんな人でもその人に合った暮らしが出来ることが一番大切なことです。そして、暮らししているその場が社会の中で認知され、一人ひとりが社会の中で生きていくという実感を持てるようになるべきだと思います。

## サービスの現場より

### 『日々の取り組みの目標』 第二苓山寮副施設長 鮎田 公博



早いもので令和七年度も二ヶ月が経過しました。施設では、今年度の支援計画に基づき、利用者の皆さんへの支援を始めたところです。利用者の皆さんには、それぞれにたくさんさんの支援計画がたてられています、その実現のためには体力が何よりも大事です。

これまでも歩行は毎日のように行っていました、より一層力を入れて取り組んで参りたいと考えています。歩くということは日々の生活の中で最も大切なことの一つです。最近では、利用者の皆さんの高齢化などに伴う体力の低下が少し目につくような気がしています。今後は一日に三〇分とかいつもの道ではなく気分を変えて公園の散歩コースを歩いてみるなど具体的な目標を決めて皆さんに楽しみながら歩行をしていただけるように色々な工夫をして取り組みたいと考えています。

来年の三月の年度末には皆さんがどのように変化しているのか楽しみです。

### 『担当利用者さんへの取り組み』 苓山寮支援員 井上 あかり



私が担当させて頂いているOさんは、毎朝元気な声で挨拶をして下さいます。よく他の利用者さんともお話して仲良くされていますが、時折Oさんは他利用者さんへの関りが強くなりすぎると大きな声を出されたり、言い合いに発展する時もある為、丁寧な声掛けを心掛け過干渉にならないよう支援しています。

又、行事や活動にも積極的に取り組まれ楽しく参加されています。現在は種から花を育てる事に取り組んでおられ、外のプランターと部屋で育てる用の植木鉢を用意し、ミニひまわりと百日草を植え、水やりと一緒に行いました。数日後、一緒に見に行くと言芽生えており「でてきとるよ」と嬉しそうに話されています。土が乾いていた為、一緒に水やりを行い「きれいに咲くと良いですね」と話すと「うん」と元気よく答えられました。また数日すると「大きくなつとったよ」と教えて下さり、一緒に見に行くと言芽が成長していました。「良かったですね」と話すと「よかった」と大変喜ばれていたのが印象的でした。今後も花の観察と一緒に行い意欲向上へと繋げ、安定した生活を送って頂けるよう支援していききたいと思っています。

### 『グループホームカナンより』 グループホーム支援員 岡部 千恵



現在、二〇〇四〇代の女性四名で生活しています。病院や施設に勤められている方、生活介護を利用されている方がおられます。カナンでは二、三ヶ月毎にレクリエーションや食事会、出掛けてみたい所等話し合い実践しています。最近では、他のグループホームの方々と居酒屋へ行き、お酒を飲みながら食事会を楽しみました。その他、お洒落にも関心を持つておられ、初めていくお店と一緒に髪をカラーしたり、眉毛サロンに行ったりしました。引き続き、女性ならではの情報を提供していけたらと思います。

そのグループホームカナンに入居されているTさんの将来の夢は一人暮らしです。その夢に向かって先ずは一人暮らしを体験していただきました。職員の空家をお借りして、最初は二泊三日。二回目は三泊四日行いました。一回目は世話人が作った食事を持ち込み、二回目はご自身で食事と弁当を作られました。一人で寝起きし職場へ行き、買い物も体験されました。初めての事に戸惑う事も多々あったかと思いますが、ご本人は「一人で過ごす事が初めてだったので少し淋しかった」と話されていますが、自信に満ちた嬉しくてたまらない表情がとても印象的でした。次回は公共機関の利用体験を予定しています。今後も一人一人の利用者さんの声に耳を傾け、寄り添った支援が出来る様にしていきたいと思っています。

## 事例研究を通して



荅山寮支援員

宮口 明美

一年間事例研究の対象とさせて頂いた利用者の方は入所二年目の方でした。いくつかの課題を挙げていく中で気づいたことは、本人の困りごとと支援側の困りごとには違いがあるということです。穏やかな日を一日でも多く過ごして頂けるように事例メンバーで検討し取り組みを行いました。

まず、本人の困りごととして予定の変更があります。習慣化したこと、見通しの立っている予定が変更になると受け入れることが難しく不安定行動が現れます。予定を実行出来ない理由を本人の分かる手段を使用し説明を行いました。本人の楽しみ（ドライブ等）は納得することに時間を要していただきました。現在も予定の変更に対しては不安になれますが、代替案、次の予定を伝えることで受け入れ



第二荅山寮支援員

中村 聡希

令和六年度一年間をにかけて、第二荅山寮に入所して四年のHさんの生活がより良いものとなるように皆で一丸となつて研究をしました。

まず最初に取り組んだことは、より本人の事を知るところからスタートしました。幼少期過ごしていた施設の方から情報収集を行い、どのように生活をされていたかを細かく調べてみました。そこにはこれまでに私達が知り得なかった様々な情報があり、当時の御家族の深い愛情も記されていました。その中で分かってきたこととして、現在研究している問題行動が幼少期からもみられ、成人になった今でも継続していることでした。私達はこの行動がいつ、どこでどのように起きているかをフィッシュボーン相関図に落とし込み、一つ一つの事象にリサーチを



⇒フィッシュボーン図（特性要因図）は、複数の原因と一つの結果を図にまとめたもの。背骨や小骨で構成されるため、魚の骨のような見た目です。

## 牛深ハイヤ祭り見学 4月20日

お祭り会場には、魅力的な出店が沢山あり、利用者の皆さんは、牛深名物の天ぷらなど好きなものを食べ、思い思いに祭りの雰囲気を楽しみました。その後、メインのハイヤ総踊りを見学し、目の前で迫力のある踊りと音楽を楽しめました。リズムに合わせて身体を揺らす方や、子供達に「頑張って」と声援を送る方など、それぞれに楽しみ方があり、普段と違う姿を見る事が出来ました。今後も、地域の行事に参加する機会を大切にしていきたいと思います。



苓山寮7名、第二苓山寮15名、グループホーム3名の参加でバーベキューを実施いたしました。皆さん楽しみにされていた様で、食事中には作業の際は見られない笑顔や懐かしい歌を唄ったり等職員と楽しい時間を共に過ごしました。まだ収穫までに時間はありますが、加工・委託販売・実習地の整備等を利用者の方と一緒に取り組んでいきたいと思っています。今回の駒打ち慰労会が、今後、皆さんの作業への意欲向上に繋がればと思います。

## 椎茸駒打ち慰労会 4月24日



## 苓山寮家族会・事業説明会 4月27日

当日は多くのご家族にご参加頂きました。施設の概要や経営方針、作業収益、医務、防災の説明と新人紹介、新入所者のご家族の紹介と、今回新しくSNS配信の説明も行わせて頂きました。SNS配信については色んなご意見があるかと思いますが、温かく見守って頂けると幸いです。午後からは、御家族へ個別支援の説明や近況報告を行わせて頂きました。御家族の皆さんと顔を合わせて話す事で、沢山話を聞く事が出来充実した一日となりました。今後も御家族皆様のご協力をお願い致します。



## 突撃インタビュー



今回、いつもお世話になっている佐伊津町にあるBARBER濱津のオーナー様に苓山寮を代表してインタビューをしました。  
インタビュアーは利用者の山元勝信さんと松山司さんです。

山元・松山→いつも髪を切って下さりありがとうございます。「格好良い」と皆さんに褒められて、とても気持ちが良いです。私達は天草市の床屋で髪が切れる事が嬉しいです。

オーナー→皆さんが綺麗になり、私も嬉しいです。

山元・松山→散髪後、苓山寮までの送りやジュースのサービスがとても嬉しいのですが、どうしてこんなにサービスをして下さるのですか？

オーナー→私達も地域の皆さんにお世話になっておりますので、サービスは社会貢献として行っております。

山元・松山→趣味は何ですか？

オーナー→ランニングと登山です。

山元・松山→格好良い！

山元・松山→理容師の仕事をして何年になりますか？

オーナー→35年です。

山元・松山→すごい！

山元・松山→今までで一番大変だった事は何ですか？

オーナー→弟子の時ですね。大変でした。しかし、良い思い出であり、今では大変ではなかったなあの思い出です。



山元・松山→今までで一番嬉しかった事は何ですか？

オーナー→お客さんとの出会いと喜んでもらえる事です。



山元・松山→今後の目標はありますか？

オーナー→長くずっと続けていけるように頑張ります。

山元・松山→インタビューありがとうございました。今後も私たちをどうぞよろしくお願いいたします。

今まで聞けなかった事もインタビューを通して沢山聞けた事で、初めてのインタビューは大成功となりました。今後も私達がお世話になっている方のインタビューを続けて“あゆみ”を通して皆さんに町の声が届けていきたいです。

## 潮干狩り(第二苓山寮) 5月12日

マテ貝堀りに行ってきました。利用者さんと職員が協力して穴を見つけて塩を入れ、

沢山取ろうと意気込んでいましたが、出てきた瞬間に取るのが中々難しくて苦戦しました。何カ所も回数を重ねると皆さんこつを掴み、取れるようになってきて「やったー、取れたー」と喜ばれ、とても楽しまれました。帰りの車中でも「楽しかった、また行きたか」との声を頂き、皆さんにとってリフレッシュできた一日になった様に感じました。



## 天草島国際トライアスロン大会

五月二五日、気持ちの良い気候の中、第二  
苓山寮利用者十二名で本大会に出場する田中  
正行選手を応援に行きました。コース沿いから  
大きな声で「頑張れー」と拍手をしながら  
応援する事ができ、皆  
さん感激されていた様  
子でした。



### 【お知らせ】

この度、インスタグラムを開設しました。本  
アカウントでは苓山寮・第二苓山寮・グループ  
ホーム等の情報発信をしていきたいと思ってお  
ります。フォローや「いいね！」などぜひ宜し  
くお願いいたします。



Follow Me/  
はじめました

Instagram

れいざんのニコニコ日より

毎週火曜日  
配信!



## 日常生活の風景

### 山下 久美さん

編み物が大好きで笑顔が素  
敵な久美さん。今年度は「色  
々な事をしてみたい」と塗り  
絵やスクラッチアート、文字  
の練習等様々な活動にチャレンジされていま  
す。又、歯磨き準備のお手伝いも毎日頑張っ  
ておられ、とても頼りになる存在です。運動はち  
よっぴり苦手ですが、十八番の「きよしのズン  
ドコ節」が流れると、手を大きく振りながらノ  
リノリで踊り、周囲を笑顔にして下さいます。  
おしゃべりも大好きで、話し始めると話題が尽  
きる事ありません。これからも互いに笑い合  
い、毎日を楽しく過ごしていきたいと思いま



### 古川 秋男さん

昭和歌謡と釣りが大好きな  
七七歳の古川さん。明るい性  
格と素敵な笑顔の持ち主で、  
カラオケを歌うと周囲の皆さ  
んを巻き込み盛り上げて下さいます。  
普段はすばる班の一員として活動し、畑作業  
などに頑張っておられます。又、体力維持の為  
に、あましんスタジアムへ歩きに行つて体を動  
かしたり、釣りサークルで魚を釣り、嬉しそ  
うに「釣れたよー」と見せて下さいます。今後も、  
楽しい事をたくさん共有し、充実した施設生活  
を過ごして頂ける様に支援していきたいと思  
います。



## 行事予定

### 六月

十九日 家族交流会

二六日 亀川小学校福祉説明会

### 七月

一日 えがおの会

九日 合同運動会

二二日 海の日

二二日 第三回管内研修

二八日 チャレンジ60

### 八月

五日 えがおの会

十一日 山の日

## 編集後記

あゆみ一八三号発行に伴い、新しい視点の記事  
を掲載するために私達が日頃お世話になっている  
地域の方の声を掲載する事にしました。インタビ  
ュー形式で話を伺っているうちに話に引き込ま  
れ、私は今回のオーナーさんのファンになりました。  
元々スタイリッシュでオシャレで「格好いい  
大人だなあ」と思っていました。話を聞いてい  
くうちに生き様が格好いいなと感じました。職  
種は違いますが、私も積み重ねた努力と経験から格  
好いオーラが出るような大人になるために未来  
を見据えた「今」を大切に生きたいと思いました。

